

題材名 「生活を豊かにソーイング」

第6学年 B 衣食住の生活

◆本実践の概要

児童が自身の生活を振り返り、それぞれ必要だと感じる袋の形を考え、生活を豊かにするための袋の製作を行う題材である。1人1台端末を活用して製作計画を立て、グループ内で発表し、各自の製作手順や工夫点について友達と話し合うことを通して、より自分に合う製作計画に改善・修正していく授業を展開した。

1 題材の目標

- (1) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画、手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

2 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 | 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 |

3 学習活動に即した評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> ① 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ② 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 | <ol style="list-style-type: none"> ① 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定している。 ② 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 ③ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 | <ol style="list-style-type: none"> ① 生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ② 生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③ 生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し、実践しようとしている。 |

4 題材について

本題材は、生活を豊かにするための布を用いた製作について、手縫いやミシン縫い及び用具の安全な取扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、必要な材料や手順等の製作計画を考え、製作を工夫できるようになることをねらいとしている。

本実践では、まず自分の生活を振り返り、身の回りにある袋を観察して、工夫の仕方等について調べる。

それを基に、どのような袋があると自分の生活がよりよくなるかを考えて袋に入れたい物とそれに合う形を決め、これまでの製作経験とも照らし合わせながら、目的に合った袋を選ぶ。児童の選択の幅を増やすことをねらいとして、ナップザック・縦型トートバック・横型トートバックの3種類を提示し、さらにトートバックにはまちがある物とない物、ナップザックには基本コースと短縮コースを用意する。このように選択肢を増やすことで、個別最適な学び、特に学習の個性化を図る。また、製作計画を立てる際には、1人1台端末を活用し、作り方の工夫等について調べながら、製作計画を立てる。その後、自分の製作計画を同じ形の袋をつくるグループ3～4人で発表し、お互いの計画や工夫について話し合うことを通して、自分の製作計画を更に修正・改善する。また、製作時には、地域のミシンサークルの方々にご協力いただき、必要に応じた重点的な指導を個別に行う。このような学習活動を通して児童同士だけでなく、地域の方々との協働的な学びの充実も図りたい。できあがった後には、それぞれ袋を活用し、使用した感想や改善点を交流して次の製作の意欲へとつなげる。

5 指導と評価の計画 (・は指導に生かす評価、○は記録に残す評価を表す)

| | ねらい・学習活動(抜粋) | 評価規準(評価方法) | | |
|-----------|---|-------------------|----------------|-------------------------|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1 | 布を用いた物の製作について関心をもち、使う目的に応じた工夫を見つけようとするとともに、自分の生活を豊かにする物をつくるために、問題を見いだして課題を設定することができる。 | | ○思① (取組の様子) | ○主① (ワークシート・ポートフォリオ) |
| 2 | 自分が作成したい袋に必要な材料や、製作手順が分かり、製作計画を立てることができる。 | ・知① (取組の様子) | ・思② (スライド) | |
| 3 (本時) | 製作計画を発表し合い、改善点や修正点について話し合い、製作計画を工夫することができる。 | | ○思② (スライド) | ○主② (スライド・ポートフォリオ) |
| 4 9 | 用具の安全な取り扱いを理解し、正しく印をつけることができるとともに、製作計画を基に縫い方や手順を考え、工夫して製作することができる。 | ・知② (取組の様子) | ○思③ (取組の様子) | ○主② (ポートフォリオ) |
| 10 | 生活を豊かにするための布を用いた袋の製作について、実践を評価したり改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。 | ○知①② (ペーパーテスト) | ○思④ (スライド) | ○主③ (ポートフォリオ) |

6 本時の授業(第3時)

(1) 本時の目標

- ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について様々な解決方法を考え、工夫することができる。
- ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、計画を振り返って改善することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について様々な解決方法を考え、工夫している。【思考・判断・表現②】
- ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、振り返って改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度②】

(3) 本時の実際

| 過程 | 主な学習活動と児童の反応 | 評価と配慮事項 |
|------------|--|---|
| つかむ 5分 | <p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>友達と話し合って自分にぴったりの製作計画をつくろう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の過程を記録するためのポートフォリオを配付する。 ・1人1台端末を準備しておく。 ・同じ袋を作る3~4人のグループを編成し、近くの席に座らせる。 |
| 考える 28分 | <p>2 同じ袋を作る3~4人のグループで製作計画を発表し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫(かざりの種類や付け方、材料等)やそれに合う製作手順といった話し合う視点を確認する。 ・話し合いの進め方と約束を確認する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>発表は1人7分間</p> <ul style="list-style-type: none"> ①発表(2分) ②コメント入力(2分) ③話し合い(3分) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>約束</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージは削除しない。 ・「いいね」は押さない。 ・コメントへの返信はしない。 </div> </div> <p>・発表を受け、友達の製作計画の良いところや改善点についてスクールタクトのスライド「3.工夫」「5.製作手順」にしばってコメントを記入する。</p> <p>・コメントを書き込んだ後、意見を発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・机を向かい合う形にさせる。 ・児童の思考の助けになるように、ヒントカードや補助資料を必要なグループに配付する。 ・話し合いに時間をとるために、コメントを記入するスライドを「工夫」と「手順」に限定する。 ・スライドの内容についてアドバイスするよう指導する。 <p>○思②(スライド)</p>  |
| 深める 7分 | <p>3 製作計画を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫や製作手順等について、話し合ったことや友達からのコメントを参考にしながら、手書きで製作計画を修正する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>3. 工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸の色 ・縫い方 ・ゆとり ・糸が見えないように縫う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>3. 工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マチを付ける ・ゆとり ・糸が見えないように縫う。丈夫に縫うため(縫い) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>5. 製作手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ①印をつける ②わきを縫う ③内側にポケットをつける ④底にまちを作る ⑤口の内側にラインテープを縫い付ける ⑥出来上がり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>5. 製作手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ①印をつける ②わきを縫う ③内側にポケットをつける ④底にまちを作る ⑤口の内側にラインテープを縫い付ける ⑥ネームプレートを作る </div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・見え消しにして赤で付け足しや修正を行い、考えの変容を見取る。 <p>○主②(スライド)</p> |
| まとめる 5分 | <p>4 本時の振り返りをポートフォリオに書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>友達と話し合って自分にぴったりの製作計画をつくらう。友達の意見を理由(工夫)リンクして作り直したいところを製作手順に書き替えた。話し合いでよい方向へいこうかという改善点を見つけることができた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>③ 10月12日 楽しかった。友達と話し合って自分にぴったりの製作計画をつくらう。ポケットをつける位置の改善をしようとした。5針のものが入れやすいが、縫うのが短かすぎるかを決めました。もっと短かくなるようにしています。</p> </div> </div> <p>5 児童の振り返りを基に本時のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名の児童に発言させる。 <p>6 次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は製作に入ること、必要な道具や材料を持ってくるよう伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の言葉でまとめができるよう、机間指導を行う。 <p>○主②(ポートフォリオ)</p> |

7 実践を振り返って

本事例は、布を用いた物の製作について自分に最適な課題を設定し、児童が自己調整しながら他者と協働して学ぶことをめざした実践である。

まず、自分の生活を振り返り、袋に入れたい物とそれにあった形、用途に合わせた工夫を考えた。そして1人1台端末の学習支援ソフトを活用して製作計画を立てた。

本時では、少人数のグループで自分の立てた製作計画を発表した。時間確保のために工夫と製作手順に絞り、良い点と改善点についてコメントを入力し、話し合いを行った。ポケットを縫う手順や目的に応じた系の色、ポケットの大きさや付ける位置等について話し合う様子が見られた。その後、コメントや話し合いを参考に製作計画を修正し、より自分にぴったりの計画にした。本時を通してポケットや飾りを付ける製作手順を改めたり、返し縫いをより重点的に行うところを明記したり、自分の技能や目的に合わせて系の色を変更したりするなどの変容が見られた。このことから、協働的な学びにより新たな気づきを得られたことがうかがえる。一方で製作経験が少なく、製作手順を具体的にイメージすることができずに効率のよい手順について考えが及ばない児童もいた。教師がヒントカードや具体物を根拠に気付かせようと試みしたが、本時では具体的に考えることができなかった。

製作では、地域のミシンボランティアの方にご協力いただいた。製作計画について考えたことで手順をイメージすることができ、順調に製作が進んで予定より少ない時間で製作を終えることができた。効率のよい手順についても、ボランティアの方からヒントをいただいたり、試行錯誤したりする中で気づき、自分の目的に応じた手順で製作を進める児童の姿が見られた。

製作を終え、袋を使う期間を設けた後、袋を使用した感想や製作計画について振り返りを行った。袋を使用した感想として、まちやポケットの利便性が挙げられた一方で、ポケットの大きさや飾りの強度、持ち手の長さなどについての改善点が挙げられた。製作計画の良かった点では、ポケットを付ける手順の工夫や返し縫いを重点的にするタイミングの明記などが挙げられ、改善点としては、アイロンをかける手順やポケットを作る手順を計画に入れること、ポケットを付ける手順の工夫などが挙げられた。

学習前は生活が豊かになる袋について「物がたくさん入る」「生活が楽になる」袋だと考えていた児童が、学習後には「自分好み」「使いやすい工夫がある」袋だと気づき、生活を豊かにする要素について具体的に考えることができるようになった。それぞれの目的に合わせた袋を製作することで、意欲と主体性を保ちながら、友達やボランティアの方々と協働的に学び、新たな気づきを得ることができた。学びの必要感を持たせ、児童の思いを大切にしながら学習を進めることで豊かな学びになることを感じた実践であった。

